

# 2022年度 恵愛会 事業報告

## 1. はじめに

2022年度は新型コロナウイルス感染症が爆発的に再流行し、富士医療圏においてもコロナ対応病床や救急患者の受入など逼迫した医療提供体制が続いた。元々、医師・看護師など医療従事者の採用が困難な地域事情の中、逼迫した医療が続いたことで、医療従事者の離職に拍車がかかり、地域内における医療提供体制は更に困難な状況となった。そのような中、“地域に貢献できる医療を目指す”という当法人の理念の下、9月にコロナ対応病床6床を確保し、これまでの発熱外来やワクチン接種の運営に加え、入院患者の受け入れを行った。この一年、日常生活において多くの我慢をしながら日々の業務に従事してくれた全職員に感謝したい。

医師体制においては、2021年度末に医師2名が退職し、厳しい診療体制を強いられることになったが、関連法人である聖隷浜松病院 整形外科・眼科医師による支援が拡大し、専門手術が出来る手術室の体制・環境を整備した。一方、年度末には医師や看護師の離職が続き、医療従事者の確保は依然として課題が残る。重点事業に掲げる“地域包括ケア病床、透析、内視鏡、心臓カテーテル治療、放射線検査（CT・MRI）”では受入体制を整備、健診事業においては、地域・企業への積極的な広報を行なった結果、人間ドック・協会けんぽ等の健診、特定保健指導等の利用者は順調に伸びている。

その他、健診利用者で要・再精密検査を必要とする方への外来受診予約、訪問看護利用者の緊急入院やレスパイトを目的とした入院受入など、法人内での更なる連携に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症への対応や水光熱費・材料価格の高騰、2024年には医師の働き方改革が施行されるなど、医療機関を取り巻く環境は年々厳しさを増している。その中で、地域のニーズを見極め、富士地区の地域包括ケアの具現化に向けた取り組みが図れるよう、職員の力を結集し、地域から期待される法人を目指していく。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

項 目	予 算	実 績	対 予 算	対 前 年
<b>医業収益</b>	<b>4,823,927 円</b>	<b>4,724,903 円</b>	<b>97.9 %</b>	<b>99.5 %</b>
病院	4,637,927 円	4,552,569 円	98.2 %	99.8 %
在宅	186,000 円	172,334 円	92.7 %	93.5 %
<b>医業費用</b>	<b>4,815,546 円</b>	<b>4,904,261 円</b>	<b>101.8 %</b>	<b>102.5 %</b>
病院	4,662,561 円	4,751,347 円	101.9 %	102.7 %
在宅	152,985 円	152,914 円	100.0 %	95.0 %
<b>経常利益</b>	<b>30,852 円</b>	<b>2,378 円</b>	<b>7.7 %</b>	<b>9.4 %</b>
病院	-4,683 円	-19,505 円	-	-
在宅	35,535 円	21,883 円	61.6 %	92.4 %
<b>当期純利益</b>	<b>30,852 円</b>	<b>2,391 円</b>	<b>7.7 %</b>	<b>9.6 %</b>
病院	-4,683 円	-19,492 円	-	-
在宅	35,535 円	21,883 円	61.6 %	92.5 %

## 2. 聖隷富士病院

2021 年度末に整形外科の常勤医師 1 名、眼科の常勤医師 1 名が退職し、厳しい診療体制でのスタートとなった。2021 年度の途中から関連法人である聖隷浜松病院の支援を受け、整形外科では脊椎・下肢関節手術、眼科では白内障・硝子体手術を開始し、手術室の受け入れ体制や環境を整備した。病床運営では、一般病床では増大する手術患者や心臓カテーテル治療患者の受け入れ、地域包括ケア病床では地域からの転院受け入れに加え、在宅からの急性増悪患者やレスパイト入院の受け入れに努めた。また、9 月には新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大を受け、コロナ対応病床 6 床を確保し運営を開始した。今年度も新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされることとなったが、発熱外来やワクチン接種の対応などの取り組みに加え、全職員の懸命な感染対策により、院内でクラスターが発生した際には手術や診療を止めることなく感染拡大を最小限に食い止め、早期収束を図ることができた。全職員の職務に対する真摯な姿勢に敬意を表し感謝したい。

重点事業に掲げている透析センター機能では、多様な患者への対応を目的として個室 2 床の増床、シャントエコー検査枠の拡大、新たに腎臓内科外来を開設し、透析新規導入に繋げる窓口として診療を開始した。その他、心臓カテーテル検査・治療や内視鏡、更新した CT や MRI 検査を有効活用する為の取り組みを図り、それぞれ件数を増加させることができた。施設基準では看護補助体制充実加算や二次性骨折予防継管理料、透析時運動指導加算に関する取り組みを開始し、新たな施設基準を取得した。健診事業においては、関連する聖隷保健事業部の支援を得ながら健診システムの導入、各種健康保険組合など多数団体との契約締結、人間ドックや内視鏡検査枠の拡大、婦人科検診を開始するなど、より多くの方にご利用いただける環境を整備した。また、新型コロナやインフルエンザワクチン接種などにも取り組み、地域の企業との連携を強化した。

2023 年度は”医師・看護師など医療従事者の確保”が最重要課題である。3 年間に及ぶ新型コロナの対応や感染予防の行動制限なども加わり、医師不足に加え、地域全体で看護師不足が発生するなど、地域医療は逼迫した状態が続いている。導入を予定している電子カルテシステムでは、「業務環境の改善・効率化」、「医療従事者の採用力強化」、「働きやすい環境の整備」につなげられるよう準備を進めていきたい。地域内の医療提供体制は年々厳しさを増しているが、その時々“地域に貢献できることは何か”を常に考え、全職員が目標達成の為に一丸となり取り組んでいく。

### 1. 事業継続可能な病院経営の改善【重点項目】

- ・ 聖隷浜松病院による診療支援
  - ・ 内科二次救急対応（2 回/月）
  - ・ 整形外科 脊椎・下肢関節外来および手術（手術：112 件/年）
  - ・ 眼科 外来および白内障・硝子体手術（手術：244 件/年）
- ・ 医師採用
  - ・ 腎臓内科 非常勤医師外来開始（週 1 日）
  - ・ 2023 年 7 月 健診常勤医師、11 月 内科常勤医師着任予定
- ・ 病床の有効活用
  - ・ 新型コロナウイルス感染症 6 床受入の開始（2022 年 9 月）
  - ・ 地域包括ケア病床の活用（平均 33.2 名、病床稼働率 70.6%）
  - ・ レスパイト入院の受入（受入数 95 名 前年：83 名）

- ・新型コロナウイルス感染症への対応（発熱外来、ワクチン接種、自費検査）
- ・新規施設基準の取得（看護補助体制充実加算、二次性骨折予防継管理料、透析時運動指導加算）

## 2. 病院機能の整備と地域連携の強化【重点項目】

- ・透析機能拡大に伴う体制・環境の整備
  - ・透析個室2床増床（利用者数 142名/月 前年：141名）
  - ・シャント造設、PTA（シャント造設・PTA 153件/年 前年：155件）
  - ・シャントエコー枠の増設（シャントエコー 245件/年 前年：157件）
- ・健診事業の更なる充実
  - ・人間ドック枠の拡大（人間ドック 220件/年 前年：96件）
  - ・協会けんぽ営業強化（一般健診 1,893件/年 前年：1,772件）
  - ・特定保健指導の開始（特定保健指導 278件/年 前年：140件）
  - ・婦人科検診の開始（婦人科検診 583件/年）
  - ・健診再精密検査の外来受診体制の整備（紹介受診 899件/年 前年：496件）
  - ・職域ワクチン接種、出張インフルエンザワクチンの運営
  - ・健診システムの新規導入、予約センター業務を聖隷保健事業部へ委託
- ・センター機能（内視鏡、心カテ、手術室）の充実、高額医療機器の利用促進
  - ・内視鏡検査枠の拡大（2,704件/年 前年：2,616件）
  - ・心カテ検査、治療件数の維持（517件/年 前年：516件）
  - ・手術室体制、環境の整備（脊椎・下肢関節、白内障・硝子体手術）
  - ・CT/MRIの有効活用（CT 7,292件/前年 6,900件、MRI 3,550件/前年 2,952件）
- ・地域連携・広報機能の強化
  - ・紹介、転院受入の連携強化（紹介患者数 5,178件/年 対前年：4,680件）
  - ・地域広報誌へ健診事業掲載
  - ・透析送迎車、訪問看護公用車への健診事業広告
  - ・病院広報誌「恵愛だより」を活用した情報発信の強化

## 3. みんながいきいきと働ける職場づくり

- ・医療従事者の採用（52名）
- ・多職種参加の診療援委員会定期開催（医師、看護師の負担軽減への取り組み検討）
- ・聖隷福祉事業団、芙蓉協会との連携（診療支援、職員出向、応援体制、合同研修）
- ・専門資格の取得、外部研修への参加
- ・ストレスチェック、職員満足度調査、内部監査の実施

## 4. 安全・安心な医療・サービスの提供

- ・医療安全管理マニュアルの改訂
- ・医療安全研修、5S活動の実践
- ・新型コロナウイルス感染症への対応（発熱外来・検査・ワクチン接種・病床確保）
- ・院内感染対策の策定および実施

## 5. 地域社会への参画・貢献

- ・ 個別ワクチン接種、職域ワクチン接種の実施
- ・ 障がい者雇用の継続

### 〈病院〉

項 目	予 算	実 績	対 予 算	対 前 年
外 来 患 者 数	427 名	407 名	95.3 %	95.5 %
外 来 単 価	22,154 円	23,310 円	105.2 %	104.7 %
入 院 患 者 数	95 名	85 名	89.5 %	101.2 %
入 院 単 価	54,492 円	58,834 円	108.0 %	101.6 %
病 床 稼働率	81.2 %	72.6 %	89.4 %	101.1 %
職 員 数	300 名	297 名	99.0 %	99.7 %

### 〈健診〉

項 目	予 算	実 績	対 予 算	対 前 年
健診受診数	2,363 名	2,609 名	110.4%	131.4 %
健診単価	23,517 円	17,298 円	73.5 %	114.2 %

※ ワクチン接種、PCR 自費検査、巡回バス健診への職員派遣は除く。

※ オプション検査のみ受診者数は除く。

### 3. 在宅(訪問看護ステーションけいあい、居宅介護支援事業所けいあい)

新型コロナウイルス感染症が再流行する中、医療施設の病床逼迫や医療従事者への負担が増し、陽性者の療養は入院から在宅へ移行された。利用者や介護者が在宅療養となり必要なサービスを利用できないケースも増え、その対応に苦慮した。

職員体制においては、看護師3名、介護支援専門員1名の退職があり、厳しい体制の中で在宅支援を行った。当事業所は看取り期の依頼が多く、短期で終了となる利用者が多いのも特徴であり、昨年度は56名の利用者の看取りを行った。居宅介護支援事業所は、新規加算の取得に向けた取り組みを意識し、次年度より特定事業所加算2を取得する体制を整えることができた。

在宅ケアの対象者は急増し、しかも重度化・多様化・複雑化してきている。がん末期患者や人工呼吸器の装着者、医療ニーズの高い利用者が増えていること、重度の障がいのある小児や精神障がいがある在宅生活者、認知症の人など、多様化してきていることも最近の特徴である。人生の最終段階を在宅で過ごすことを希望する利用者が増えている中、一人暮らしや高齢者世帯、老老介護、認認介護など家族介護基盤の弱体化など、複雑化した多問題を有する利用者が少なくない。その中で職員がやりがいを感じ、働き続けられる職場作りと人員確保・育成に注力し、地域の人々が医療と介護を安心して利用できるよう、取り組んでいく。

#### 【在宅事業理念】

利用者が住み慣れた地域社会や在宅において、安心して安全に暮らせるよう、地域に根ざした質の高いサービスを提供します。

#### 【2022年度重点施策】

1. 経営の安定化による事業の継続と発展
2. 地域の在宅医療・介護提供体制に寄与できる在宅機能の整備
3. 人材育成の推進を図り、質の高いサービスを提供する
4. 労働環境の整備
5. 社会貢献への取り組み

#### 〈訪問看護・居宅〉

項目	予算	実績	対予算	対前年
介護保険 利用回数	733件	653件	89.0%	93.1%
単価	9,100円	9,076円	99.7%	88.9%
医療保険 利用回数	604件	561件	92.8%	103.1%
単価	12,758円	12,182円	95.4%	119.3%
居宅 利用回数	166件	130件	78.3%	81.7%
単価	13,165円	14,608円	110.9%	109.8%

## 【2022年度の主な行事】

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	04月01日
新人防災研修	04月04日
監事監査	05月16日
理事会	05月18日、6月13日、07月20日、 11月16日、3月13日
中堅研修(第1回のみ、2回以降中止)	05月27日
評議員会	06月13日
新人研修	06月17日～18日、01月27日
聖隷福祉事業団監査室関連法人外部監査	06月09日
2年目研修	07月08日
障害者雇用納付金関係業務調査	07月08日
緊急連絡(安否確認)訓練	07月23日
すくすく保育園児童育成協会立入調査	07月28日
感染研修(年2回、デスクネット開催)	10月22日～12月16日、 03月22日～4月22日
医療安全研修(年2回、デスクネット開催)	07月01日～08月31日、 01月10日～02月07日
勤務意向調査・職員満足度調査	08月01日～19日
メンタルヘルス研修(eラーニング)	09月01日～30日
総合防災訓練(デスクネット開催)	10月20日～(3週間)
第19回院内学会	10月22日
サービスの質向上委員会研修(デスクネット開催)	11月01日～30日
消防立入検査	11月02日
患者満足度調査(透析・入院)	11月(1ヶ月間)
患者満足度調査(外来)	11月14日、16日
聖隷福祉事業団施設基準内部監査	12月20日
糖尿病療養支援委員会勉強会(デスクネット開催)	01月04日～31日
医療ガス保安講習(デスクネット開催)	01月10日～24日
聖隷福祉事業団監査室フォロー監査	01月12日
安全運転講習	02月02日～16日